

10月SG5会合(WP3会合)に向けた対処方針

ICT環境影響評価と高電圧直流給電の勧告化を重点課題として、その端緒として、「ICTと気候変動」フォーカスグループの成果物を再インプット(寄書化)することを基本とする。

- ◆ Q14/5(Guides and terminology on environment and climate change):
 - ・ Direct/Indirect & positive/negative impactなどの早急に定義する必要な用語を抽出し、次回SG5会合で提案する。
- ◆ Q17/5(Coordination and Planning of ICT&CC related standardization):
 - ・ JCAや他のSGの検討をウォッチしながら、他のSGの検討の重複が生じないように、他国からの提案を監視し、必要に応じた対処を行う。
- ◆ Q18/5(Methodology of environmental impact assessment of ICT):
 - ・ D1(4章)やD3から抽出して次回SG5会合で提案する。
 - ・ 国内で議論すべき課題を抽出し、議論を通して国内整理を図る。(原単位など)
- ◆ Q19/5 (Power feeding systems):
 - ・ 議論すべき課題を抽出し、次回SG5会合で提案する。
- ◆ Q20/5(Data Collection for Energy Efficiency for ICTs over the lifecycle):
 - ・ 通信装置のエネルギー効率測定方法の外国動向(ATISなど)をウォッチして、適宜値の検証など適応可否を検討する。
- ◆ Q21/5(Environmental protection and Recycling of ICT equipments/facilities):
 - ・ Universal Charging Solution (UCS) の勧告化の動きへの対応

10月SG5会合(WP3会合)への日本寄与文書

No.	課題No.	寄書タイトル	担当企業	関連FG ICT&CC 寄書No.
1	Q14/5	Positive/Negative/Direct/Indirect Impactsの定義	NEC	C-57
2	Q18/5	ICTの環境影響評価手法に関するスコープと検討項目の提案	NTT	—
3	Q18/5	ICTの環境影響評価手法に関する基本的な考え方の提案	NTT	C-5 C-7
4	Q18/5	ソフトウェアを設計・製造することに伴う環境負荷の算出方法の提案	日立	C-46
5	Q18/5	業務効率化に伴うオフィススペースの利用に関わるエネルギー消費削減の算出方法の提案	富士通	C-47
6	Q19/5	給電システムの仕様に関連する検討項目の提案	NTT	C-86